

## 衛生視点の感染症・災害時のBCP

### ①BCP策定のメリット

オフィス環監未来塾 代表 中臣昌広

新型コロナウイルス感染症の影響のなか、多くの企業が事業の見直しや縮小などをせざるを得ない状況になりました。このような社会情勢の変化により、感染症対応や災害対応を考慮したBCP（事業継続計画）策定の重要性が高まっています。しかし現在、BCPの策定率は低く、中小企業では15%未満（2022年12月現在）といわれています。そこで、感染症対応や災害対応を踏まえたBCP策定に役立つ情報を、保健所・環境衛生監視員の視点からお届けします。

BCPは、感染症発生時、災害発生時に事業を止めないで継続するための計画です。平常時に何をしておくのか、緊急時にどう行動するのか、事業継続のための手法や手段などを取り決めておきます。BCP策定には手間がかかる半面、メリットもあります。BCP策定をしている企業は信用力が向上し、販路開拓の道が開けるでしょう。経済産業大臣により事業継続力強化計画として認定されれば、財務体質の強化との関連で低利融資、税制措置、補助金の優先採択などが得られる可能性があります。なによりBCP策定企業は、災害発生時の平均復旧期間が13日といわれ、未策定企業の41日と比べて約3倍早いとされています。